

第 698 回 役員会 議事概要

1 日 時 令和 8 年 7 月 22 日（水） 9 時 30 分～9 時 59 分

2 場 所 Zoom 会議

3 出席者 構成員 8 名：

染矢学長、川端理事、澤村理事、大鳥理事、小野寺理事、住吉理事、
藤澤理事、塚本理事

陪席者 4 名：

菊地特命理事、末吉特命理事、岡監事、赤塚監事

4 議事概要の確認

第 697 回(令和 8 年 7 月 8 日)の議事概要が確認された。

5 審議事項

(1) 医歯学総合病院に係る控訴への対応について

医歯学総合病院に係る控訴への対応について、資料 1 に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

・なし

(2) A I & データサイエンスイノベーション共創センターの設置について

A I & データサイエンスイノベーション共創センターの設置について、資料 2 に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

・なし

(3) 令和 8 年度「地域の M I C E 誘致力強化促進事業」への申請について

令和 8 年度「地域の M I C E 誘致力強化促進事業」への申請について、資料 3 に基づき審議が行われ、最終的な内容修正は学長に一任することとし、承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・日本酒学のみでなく「おいしさ D X」の視点を取り入れることや、科学的な美味しさの分析などについて盛り込むことで、事業に広がりを持たせることができるのではないかと。
- ・頂いたご意見については、プログラム 1 の内容に関わる事項であり、内容を含めて検討したい。
- ・日本酒学をエクスカージョンの核にして国際学会などの誘致を図るために、地域振

興事業としてのコンテンツ開発やスキル向上を図るものであると認識している。今回の申請内容は、他大学との連携や国際ネットワークなどを利用した酒関係のシンポジウムを対象とするものなのか、それとも幅広い学会やインセンティブ旅行なども対象にして広くコンテンツ開発とスキル向上を目指すものなのか。

- ・本事業は、地域資源の活用を目的としており、必ずしも酒関係のシンポジウム等に限定されるわけではない。今回の申請では、日本酒学という地域資源を前面に出した内容となっている。
- ・資料では「世界初の日本酒学」という表現が繰り返し用いられており、読み手によっては日本酒学という学問そのものの価値に重点を置いている内容であると受け取られる可能性がある。本来は、大学の研究成果や知的コンテンツを地域資源や地域産業と結び付けて地域経済に還元するMICEモデルを構築することが主題であり、そのような整理にすることで汎用性が高まり、横展開も可能になるのではないかな。
- ・ご指摘のとおり、本事業では横展開の可能性を示すことが重要である。日本酒に限らず、他の地域資源を活用したモデルとして構築できることを示していく必要があると思う。
- ・エクスカージョンプログラムについて、現状では一般的な観光プログラムに見えるため、高度で専門性の高いプログラムとして差別化を図ることも一案かと思う。また、佐渡自然共生科学センターが体制に入っているので、エクスカージョンとして佐渡もプログラムに組み込むことで魅力向上につながるのではないかな。
- ・事業終了後に本学に何が残るのかという視点も重要であると思う。
- ・本事業の性質上、横展開が可能なモデルであることを示すことが重要であると思う。

6 報告事項

(1) 令和9年度国立大学法人運営費交付金の概算要求事項について

(2) 令和8年度戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業の選定結果について

(3) 令和8年度文化芸術振興費補助金（メディア芸術アーカイブ推進支援事業）の審査結果について

(4) 第7回新潟大学医歯学総合病院特定臨床研究監査委員会監査報告について

報告事項の(1)(2)(3)及び(4)については、口頭による説明は省略し、役員において資料4、資料5、資料6及び資料7を確認した。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし